

短歌・俳句・川柳

千厩川柳同好会 題「待つ・選ぶ」

服選ぶ暑さと秋が入り乱れ 清風 清風

選ぶのに時間は要らぬ三メニユー み以 み以

待つ内にどうでもよくなる予約本 洪柿 洪柿

待つ間無し当確テロップ拍子抜け 敏乏 敏乏

待つ人知らないままでする一票 福笑 福笑

喉ぼとけ動くまで待ち次の匙 つむぎ つむぎ

十八で選ぶ進路とまつりごと 木偶坊 木偶坊

待つ人の笑顔浮かべて買う土産 昭子 昭子

秋の会 兼題「秋彼岸」「唐辛子」当季雑詠

父母へ二つおはぎを秋彼岸 花乃 花乃

刈草の堰を流るる秋彼岸 萌 萌

どつかりと部屋を占拠の猛暑かな 一古 一古

長寿なほ元氣いつぱい敬老日 和喜 和喜

腕いつぱい庭花かかえ墓参り 井鶯 井鶯

壁を背に薄暮に並ぶ鶏頭花 紫蘭子 紫蘭子

馬追の鳴き声聞けば唄う婆 青香 青香

朝まだき雨の最中の虫時雨 この実 此の實

衣被かすかに残る土臭さ 香里 香里

寝落ちした孫の背に吹く秋の風 かおる子 かおる子

秋彼岸煮しめの味の定まらず 秋緒 秋緒

仏壇の写真を換えて秋彼岸 秋水 秋水

枯供花を抜きて整う秋彼岸 一誠 一誠

秋彼岸病む弟の里帰り 京 京

秋彼岸墓石に寄り添う赤き花 久保雪 久保雪

唐辛子友の軒にも束二つ 光風 光風

茄子漬の紫紺の色の色を食べ 万年青 万年青

栗御飯仏に供え我元氣 春星 春星

こともなく一日の暮れて虫を聞く 川古 川古

鉄塔のその先に見ゆいし雲 華 華

陽射し濃しおもちゃかぼちやも苦笑い 碧 碧

田のアート苣蕉の衣秋の風 秋江 秋江

笑み届け笑み受く訪問敬老日 のどか のどか

照り返生皿いつぱいにぶどう盛る 林子 林子

秋彼岸白き塔婆秋彼岸 若郵 若郵

秋彼岸病む弟の里帰り 京 京

三島俳句会 兼題「ななかまど」「秋晴れ」「当季雑詠」

一山の葛の葉揺るる過疎の里 一好 一好

祭り終え肩に静かに秋時雨 妙女 妙女

秋晴や義父とゆきたる野を想ふ 曲水 曲水

草かげの形に霜の残りけり 真木 真木

還暦の近き子なれど日曜の朝早く来て草刈りてゆく 雅彦 雅彦

孫は孫子は子なりに成長す高齡我が身お茶を楽しむ 清子 清子

連日の猛暑続けば思い出づ七十八年過ぎし終戦の日を ヤシ子 ヤシ子

咲き満ちて花の重みにしなりつつぼんぼり灯す白さるすべり 史子 史子

親逝かば赴くところ子の胸や大根撒く手休め思ひぬ 大樹 大樹

露天湯に病葉浮きて揺れてをり癒ゆることなき傷をひたして 知男 知男

資源回収に協力願います。古新聞 雑誌 ダンボール アルミ缶 など。回収場所は千厩市民センター東側へ向かって右側へにあります。※缶はつぶさないでお待ちください。

古紙類	5年4月5日回収実績	古紙類	4年4月5日回収実績
5.5%	5.5%	9.7%	9.7%
230キ	230キ	424キ	424キ

せんまや 市民センター



総合成績	家族リレー	応援賞	特別賞
1位：2-1区	1位：岩井家族（2-2区）	2-1区	上田亜弥（1-2区）
2位：中 沢	2位：千田家族（中沢）	駒場	中島美穂（2-1区）
3位：北ノ沢	3位：菅原家族（2-1区）	2-3区	（敬省略）

百花繚乱の道を歩く 元気セミナー ウォーキング

千厩市民センター主催の元気セミナーは9月27日、ウォーキングを開催しました。参加者17人は宮城県加美町の「やくらいガーデン」へ行き、百花繚乱の庭園の中、約4キロコースを歩きました。やくらいガーデンは四季折々の花が咲く壮大な景色が人気の場所。この日は小雨が降る中のウォーキングとなりましたが、咲きほこる花々を見ながら気持ちよく歩くことができました。



開催予告 シルバー芸能発表会



千厩長生会連合会主催のシルバー芸能発表会が右記の通り行われます。歌あり踊りありの「芸」をお楽しみください。

期日：令和5年11月16日（木）
場所：千厩勤労福祉センター
開会：午前 9時45分～
開演：午前10時～

～けいさつからのお知らせ～

冬期間の交通事故防止

凍ってる?迷ったときは減速を

1 早めに冬用タイヤを装着する

雪の降り始め、路面の凍り始めの時期はスリップ事故が多発する傾向があります。**天気予報を確認**し、道路環境にあった運転ができるように**早めに冬用タイヤを装着**しましょう。

2 路面をよく確認する

冬期間は、路面が濡れている状態に見えても、凍結している場合がありますので、**速度を落として運転**しましょう。

3 規制速度を守る

規制速度を守るとともに、「急」なハンドル・ブレーキ操作にならないよう、時間と心に余裕を持ち**十分な車間距離**を取って安全運転を心掛けましょう。

問い合わせ先 千厩警察署 51-0110

匠の技にふれる 長生会移動研修



千厩長生会連合会は17日、移動研修を行い36人が参加しました。陸前高田市の気仙大工左官伝承館と東日本大震災津波伝承館を訪れ、全国にその名を馳せる「匠」の伝統の技にふれたほか、防災意識を高めました。